

# I 令和4年度 事業報告

社会福祉法人会津療育会の理念、施設運営の指針、令和4年度短期事業計画に基づき、取り組むべき目標を実現すべく、アガッセ事業推進委員会を中心に各委員会、係、各部署が一体となり、事業を推進してまいりました。

令和4年度は令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、アガッセの入所者の方々には、日常生活、社会生活に大きな制限を受けた1年でしたが、定期的な感染対策の会議を設け、状況を見ながらできる限りの対応の検討を繰り返してまいりました。入所利用者1名、短期入所利用者1名の感染は確認されましたが、感染拡大には至らず、日頃の対策が効果的に作用してクラスターの発生は防ぐことができたと考えています。

短期入所事業については、利用居室が入所棟と同じ空間であることから、感染対策においてより慎重に対応をせざるを得ませんでした。また、通所生活介護事業においては感染対策の徹底に努めながら、通常営業を行ってまいりましたが、グループホームに居住する利用者についてはグループホーム側の意向もあり、利用を控えることも多く、在宅支援における利用率の拡大は思うように成果を上げることが難しい状況でした。そのような状況ではありましたが、相談支援事業所との連携により新規利用者の確保に努めてまいりました。

施設入所支援においては、外部との接触を制限するなど感染症対策を継続してまいりましたが、感染状況を見ながら一時的に対面面会やコンビニ外出などを行ったほか、行事や日中活動においては、職員の創意工夫により少しでも楽しみを増やせるように、また、ストレスが解消できるように努めてまいりました。

## 1. 法人組織の安定した運営と地域貢献事業の推進

事業継続計画について職員研修を開催し周知徹底を図り、感染症対策について定期会議を行い感染状況等を踏まえた対策を講じてきました。また、虐待防止委員会の定例会を開催しこれまでの虐待案件の確認及び虐待防止対策しました。記録の電子化について協議を進めてまいりました。地域貢献事業の推進については連携する他の法人との協議が進まず思うような進捗を得られませんでした。コロナ禍終了後に具体的な手順等を検討することで合意を図りました。

## 2. 在宅支援サービス事業の強化

在宅支援でもある短期入所事業については、利用前の日常的な感染対策の徹底と利用中の自室のみでの生活のお願いなど、多くの面で制限をお願いしての利用となりました。通所生活介護事業においては、ほぼ通常の営業を行ってまいりましたが、一部のグループホームからの利用の方は生活介護の利用の制限があったほか、グループホームでの感染拡大の状況もあり、利用者の拡大には至りませんでした。そのような状況ではありましたが、生活介護事業における日中活動は利用者参加企画行事や、様々なスポーツイベントにちなんだレクリエーションを取り入れるなど、工夫を凝らした活動の提供に努めてまいりました。

相談支援事業については、基幹相談支援センターとして研修や事業所訪問による地域の人材育成、一人一人を支えるための地域のネットワーク構築、そのために必要な他機関、他職種との連携強化に努めました。障がいのある人もない人も、地域の一員として自分らしく暮らせる地域を作るため、行政を中心に地域一体となって「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。計画相談事業については経営の安定を目標に、効率的、計画的な業務遂行に努め、年間を通して安定的な支援の提供ができました。感染症や災害時等の緊急事態に備え、各支援対象者のクライシスプランや避難計画の策定に取り組んでいます。

### 3. 入所者の生活圏の拡大と生活の質の向上

施設入所事業については、引き続き日常生活、社会生活に制限を受けた1年でしたが、対面での面会や隣接するコンビニエンスストアへの徒歩での買い物外出、介護タクシーを利用した個人外出など感染状況を見ながら実施するなど可能な限り対応を行ってまいりました。またボランティアの受け入れについては、傾聴ボランティアを再開し一部利用者のストレスの軽減を図ることができたと思われまます。また、利用者の高齢化重度化が進み、医療面のリスクが高まっている状況に対して、急変時の対応研修を実施するなど健康保持を目指してまいりました。